

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	03010208	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	預かり保育運営事業	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	02村の特色を生かした教育の推進	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 12 年度～ 年度)	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—	
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的</p> <p>保育時間以降において希望する園児を預かることにより、保護者への子育て支援を図る。</p> <p>②内容</p> <p>・保育時間以降、16時まで、希望者に預かり保育を行う。 ・月・火・木・金 14時～16時 水 11:30～16:00、土・日・祝日・長期休業中は除く。日額300円</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>希望する園児</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保護者への子育て支援の充実</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題</p> <p>日によって園児のばらつきが多く、また預かる時間も曜日によって違うため、適切な料金設定の検討が必要である。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	1,497	721	1,204	965	965			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料	438	381	491	460	460		
	起債							
	その他の特財							
一般財源	1,059	340	713	505	505			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109		
総コスト費(千円)(A+C)	2,606	1,830	2,313	2,074	2,074			
人口あたりコスト(円)	430	302	382	342	342			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	園児の安全確保と保護者の負担軽減を図る。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	預かり保育によって保護者の負担軽減とともに就労支援を図ることができる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	アルバイト1名で対応している。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	受益者に対し保育料を徴収しており、公平性が保たれている。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16)	15 / 16	94%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	94%	#DIV/0!	a a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
本事業については、保護者の子育て支援の充実させる事業であり、ニーズも多い。引き続き実施する。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
預かり保育事業については、幼児教育の充実、保護者負担の軽減のために必要であり、継続とするが、今後の実施体制等(職員体制)について検討が必要と考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
預かり保育事業については、幼児教育の充実、保護者負担の軽減のために必要であり、継続とするが、今後の実施体制等(職員体制)について検討が必要と考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止